



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
《学校だより 7月号 巻頭言》

令和8年6月29日(月)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

～学校と家庭で子どもの成長を支えるために～

早いもので、1学期もまとめの時期を迎えました。4月の始業式で新たなスタートを切った子どもたちは、日々の授業や学校生活、さまざまな行事を通して大きく成長しています。

特に、児童会の活動では、子どもたちの主体的な姿が数多く見られました。代表委員会では、子どもたち自身が企画・運営する「別府小フェスティバル」の実施に向け、「みんなが楽しめるには」「下級生に喜んでもらうには」と熱心に話し合っていました。また、それぞれの委員会が「学校をもっとよくしたい」という思いをもち、図書委員会ではしおりづくり、生活美化委員会ではポスターづくり、放送委員会では給食時間の新しい放送企画など、子どもたち自身が考え、工夫しながら活動を進めていました。



このような活動を通して、上級生は「誰かのために行動する喜び」を学び、下級生はそんな上級生の姿に憧れを抱きます。この憧れの連鎖こそが、別府小学校のよさであり、学校文化として大切に育てていきたいと考えています。学校の主役は子どもたち一人ひとりです。子どもたちの「やってみよう」「みんなのために」という思いを大切にしながら、これからも子どもたちが主役の学校づくりを進めていきたいと思います。

先日、第四中学校区で実施したネットリテラシー生活アンケートの結果を保護者の皆様にリーバーで配信しました。ご覧いただけましたでしょうか。小学校高学年では約3人に1人が1日4時間以上インターネットを利用し、小学生の約4人に1人にネット依存傾向が見られるという結果でした。スマートフォンやインターネットは、子どもたちの将来にとって欠かせないものです。しかし、その一方で、利用時間が長くなるほど生活習慣の乱れやトラブルの増加につながる傾向も示されています。大切なのは、「使わせないこと」ではなく、「上手に使う力」を育てることです。そのためには、家庭でのルールづくりだけでなく、「どんな動画を見ているの？」「どんなゲームが好きなの？」といった日常的な対話が重要になります。ぜひ、この機会にご家庭でもスマートフォンやインターネットとの付き合い方について話し合ってください。

さて、7月には個人懇談を予定しております。個人懇談は、通知表の結果をお伝えするだけの場ではありません。学校での様子や家庭での様子を共有し、お子様のよさや成長、そして今後の支援について学校と家庭が一緒に考える大切な機会です。子どもたちは学校と家庭で異なる表情を見せることもあります。ぜひ、お子様の頑張っていることや成長したと感ずること、ご家庭で気になっていることなども、ぜひお聞かせください。

また、学校教育自己診断アンケートへのご協力もお願いいたします。本校では、「誰もが楽しく幸せに過ごせる学校」をめざし、教育活動の充実と改善に取り組んでいます。学校をよりよくしていくためには、保護者の皆様のお声が欠かせません。良かった点や改善した方がよい点など、率直なご意見をお寄せいただき、今後の学校運営に生かしてまいりたいと考えています。

「誰もが楽しく幸せに過ごせる学校」は、学校だけでつくるものではありません。子どもたち、教職員、保護者、地域の皆様が力を合わせてこそ実現できます。これからも学校と家庭が同じ方向を向き、一人ひとりの子どもの成長を支えてまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。